

問 町内小、中学校児童生徒の徒歩登校の実態はどうか。

教育長 徒歩登校率は小中、男女とも72から81%で、沖縄県平均値と比較しおおむね高い率である。

問 児童生徒の徒歩登校について町行政の認識を問う。

教育長 集中力が身につく。地域との交流ができる。体力の向上につながるなどの意義があると認識し、徒歩登校を推進している。

問 徒歩登校推進のため町民の交通安全意識を高められないか。

教育長 各小学校で交通安全少年団を結成し、与那原署と連携して交通安全の意識高揚に取り組んでいる。またPTAや老人会とも連携を密にしていく。

総合案内所設置を

問 役場1階ロビーに、総合案内所を開設できないか。

副町長 総合的な案内を住民環境課が担っている。来庁者が利用しやすい環境づくりに努める。

児童生徒の徒歩登校推進を

答 徒歩登校できる環境にするために皆で目配りをしていく



大城 勝 議員

**ウォーキングコース
ゴムチップ舗装の経緯は**

問 黄金森陸上競技場外周のウォーキングコースゴムチップ舗装に整備されたことを評価する。その経緯を知りたい。

副町長 ウォーキングする町民が増え、そのニーズに応えるとともに健康づくり促進に向けた取り組みが必要であると考え、ウォーキングに適した、クッション性が高く足腰への衝撃が少ないゴムチップ舗装への整備に取り組んだ。

問 町内の公園のゴムチップ舗装による整備状況はどうなっているか。

副町長 神里ふれあい公園が平成24年施工で280メートル。今年4月開園の宮平区ウガンヌ前公園は220メートル。現在整備中の津嘉山公園もゴムチップ舗装を予定している。

問 身体的弱者に配慮したウォーキングコースの整備をどう考えるか。

経済建設部長 身体的弱者の方々

の意見も聴取して設計に入れていきたい。



陸上競技場 ゴムチップ舗装されたウォーキングコース

**幼稚園のせいこつ
はっぴょう会とは**

問 町立幼稚園が行う「せいこつはっぴょうかい」とはどのような催しか。

教育長 幼稚園の教育活動を保護者・地域へ公開し、学級、園全体の共通テーマを友だちと力をあわせてやり遂げることをねらいとして開催。